Lancet 誌バックファイルからみた論文スタイルの変化

山崎茂明

愛知淑徳大学文学部図書館情報学科

1823 年に Thomas Wakley によりロンドンで創刊された Lancet 誌は、学会・医学校・医師会な どから独立した医学ジャーナリズムとして生まれ、今日総合医学誌として広く読まれている。こ のバックファイルを利用し、論文スタイル、抄録、欄外見出しなどの変化を示し、歴代編集者像 を合わせて検討した。Wakley は、イングランドの豊かな農場主の 11 番目の子供として生まれた。 13 歳で船員となったが、うまくいかず故郷に戻り、15 歳の時、当時としては医師になる一般的な 訓練方法である薬種商(apothecary)への徒弟修業に従い、才能を認められ外科医の徒弟となった。 20 歳になり、ロンドンへ出て Borough 病院(United Schools of St. Thomas's and Guy's)の医学生とな り、1817年の王立外科学会会員の試験をパスした。当時の医学界は、不正や医師の悪行に満ち、 血縁や徒弟関係がポストを支配していた。これらへの不満から、彼は社会改良家となり Lancet へ の創刊へいたる。当時の Lancet 誌の内容は、代表的な医師による質の高い講演などを掲載し、医 師への教育メディアとすることにあった。今回は、Lancet 誌のバックファイルを対象にして、論 文スタイルの変化を調査した。欄外見出しは、創刊2年後の1825年から、すでに印刷されるよう になった。1920年頃から、summary が本文末に付けられるようになり、IMRAD スタイルが出現し た 1967 年から、本文の直前に独立した抄録として置かれた。1人称を使用したエッセイー的な記 事が、19 世紀の Original article の記述スタイルであった。総合医学雑誌 Lancet のバックファ イルは、医学と医療を通した社会の変化を映し出しており、歴史的な調査ツールとして活用でき る。デジタル化されたことで、過去を未来のために調査する環境が整備されたといえる。

APOTHECARIES' ACT.

THE APOTHECARIES' ACT OF 1515.

5

The examinations for certificates are, | we are informed, as anile and ridicalous as might be expected from the sex and attainments of the examiners; still, however, the Old Ladies of Apothecaries' Wales. Hall have an eye to the main chance, for here, again, it is carefully provided that all and every sum or sums of money which shall be received, or arise from the

shall belong, and be appropriated, and dis-posed of by the master, wardens, and

society of apothecaries, in such manner as they shall deem most expedient. If public utility had been the object of this Act, it would be nugatory, for the chemist and dragsit, who accompany of grocers of the city of London, or being freemen of any other art, mystery or fachemist and druggist, who compounds they had been brought up and were expert without administering medicines, is ex- in the art or mystery of apothecarics),

欄外見出しは、1825 年から始まった。Vol.5, 1 Oct 1825 Lancet